学校番号	２１３

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	論理国語	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「精選論理国語」　（東京書籍）						
副教材等	「現代文グレートラーニング４０」　（尚文出版） 「現代文単語」　（いいずな書店） 「日本文学史必携」　（第一学習社） 「プレミアムカラー国語便覧」　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小テスト、定期考査は満点を目指して頑張りましょう。
・評論文の読解に慣れて、構成・内容を的確に理解できるようにしましょう。
・授業ノートは板書を写すだけではなく、担当先生の説明の要約、教科書、資料集の必要個所の書き写しなどを積極的に行い、理解を深めましょう。
・教材ごとに「振り返りプリント」を課します。疑問、探求心を持って授業に臨みましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】文章を論理的・客観的に捉え、文章の主旨を読み取ることができる。
【思考力、判断力、表現力等】多面的なものの見方を身につけ、様々なテーマについて自分なりの意見を持ち、それを正しく表現することができる。
【学びに向かう力、人間性等】広い視野から認識を深め、効果的な言語能力を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代社会に必要な語彙、知識を理解し、必要な場面で的確に活用することができる。	「書くこと」「読むこと」の領域で、他者の思考を的確に読み取り、自分の思考を伝える力を養っている。	論の背景を探り、歴史的・地理的に広い視野から認識を深めようとしている。周囲とのやり取りの中で、言語感覚を磨き、効果的な言葉を使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	発見への誘い、言語と認識 ［教材］『ミロのヴィーナス』『相手依存の自己規定』	a:理解できる語彙を増やし、正しい文脈で理解しようとしている。 b[　読　]:抽象と具体の概念をつかみ、筆者の論理展開を理解している。 c:意見交換を通して、作品世界を深く理解しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 問題集	ワークシート ノート
	小説を読み解く ［教材］「グレートラーニング40」より小説の問題	a:正確に語句の意味を理解している。 b[　読　]:場面の状況を理解し、人物の心情やその表現について想像し、理解できている。 c:作品について話し合い、自分なりの考えをまとめることができる。	定期考査 小テスト	定期考査 問題集	ワークシート ノート
二学期	人間を見つめる、学問のまなざし ［教材］『メディアの変容』『「環境とは何か』	a:現代社会の問題事象を知ろうとしている。 b[　読/書　]:情報化や環境問題に対して、現象を理解している。 c:意見交換を通して、作品世界を深く理解しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 問題集	ワークシート ノート
	社会を捉え直す ［教材］『「である」ことと「する」こと』	a:さまざまな社会の在り方を知ろうとしている。 b[　読　]:「市民社会」における権利と義務について考える。 c:意見交換を通して、社会の在り方と人間存在の関係を深く理解しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 問題集	ワークシート ノート
三学期	イメージを読む、小説を読み解く ［教材］『日本人の美意識』、「グレートラーニング40」より小説の問題	a:言葉と意識のかかわりを知ろうとしている。 b[　読　]:日本人の美意識について考える。多文化に視野を広げる。 c:意見交換を通して、歴史的な観点から人間存在を深く理解しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 問題集	ワークシート ノート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　０　）時間

・書くこと　…　（　２０　）時間

・読むこと　…　（　５０　）時間